

剣道分会

出席者 名寄地方剣道連盟：西尾 是人、阿部 毅、今井 利憲
 中学校：清水 楓（風連）
 運動部会：筒井 正敏

《発表内容》

- ・ 剣道は昨年度から拠点校部活動で活動している
- ・ 水曜日は風連中で 16：30 から、火金 B&G は連盟の指導者が指導できる時間で活動を行っている
- ・ 用具は個人で用意または、中学生から始める生徒などは少年団の用具を貸出している
- ・ 指導は有資格者（全日本剣道連盟高段位など）が行っている
- ・ 昨年までは指導者が 5 名程度であったが、今年からは名寄剣道連盟指導者を含め 20 名となり、指導者の LINE で連絡を取り合い、指導者の出欠管理している
- ・ 緊急時やケガ等が発生した場合は、拠点校である風連中学校の担当教職員に連絡し、校長・教頭へ連絡、校長・教頭から在籍校に連絡する体制となっている
- ・ 生徒が部活動を欠席する場合、部活動内の LINE で共有され、指導者の LINE に報告される
- ・ 地方大会の負担が大きく、少年団から補填したり、教育振興補助金を活用しているが、保護者負担が大きいため、今後も補助金等を活用していきたい
- ・ 複数競技を行っている小学生や中学生も受け入れている
- ・ 平日の部活動も夏季冬季など複数競技を実施してもいいのではないかと。学校全体で話し合っていた

《質問》

- ・ 20 名の指導者に対する指導者報酬は出しているのか
 → 1 日につき 1 名分の指導者報酬を部活動指導員報酬から支給している。中体連にも監督として引率を行い、部活動指導員報酬から支給している。協会からも支給している。

剣道

指導内容

指導者に関すること

資格に関しては
有資格者が
引率という
指導者 20 名 ①

保護者の負担と理解

部費と連盟費
少年団のお金と
連盟にお金を出している
大抵は連盟のお金で

この連絡と
受付けとなる団体の格差

指導者報酬は①
指導者からLINEで
報告をとり合っている
学校と連盟の連絡を
とっている

学校の役割分担

活動場所・用具

風連中学校
(水)
B&G (火・金)

個人
おおよそ
少年団から
かき出し

部活動は②
指導者 1 名分の
お金の計 (中体連)

安全官理 緊急時の対応

連絡体制①
12. 出来た
基本的には
拠点校へ

スムーズな展開(移行)方法(土曜)冬期)

平日は
部費
12月、1月
12月、1月
12月、1月

平日の部活
12月の少年団の
貸し出し (12月)
12月に実施

《模造紙内容》

○指導内容、指導者に関すること

- ・有資格者が引率している
- ・指導者20名
- ・部活動指導員の補助は1名分のみ（中体連）

○活動場所、用具

- ・風連中学校（水曜日）
- ・B&G（火曜日、金曜日）
- ・個人、少年団から貸出

○安全管理、緊急時の対応

- ・基本的に拠点校に連絡、連絡体制がすでに構築されている

○保護者の負担と理解

- ・部費、剣道連盟、少年団のお金を重複して払っている
- ・大会参加費の補助

○受け皿となる団体との連絡と学校の役割分担

- ・情報伝達は指導者がLINEで行い、学校とも連絡を取っている

○スムーズな展開方法

- ・平日は部活動、土日は少年団もある
- ・平日の部活動、土日の少年団受け入れをすでに実施

バドミントン分会

出席者 バドミントン協会：小山 文功、小西 章子

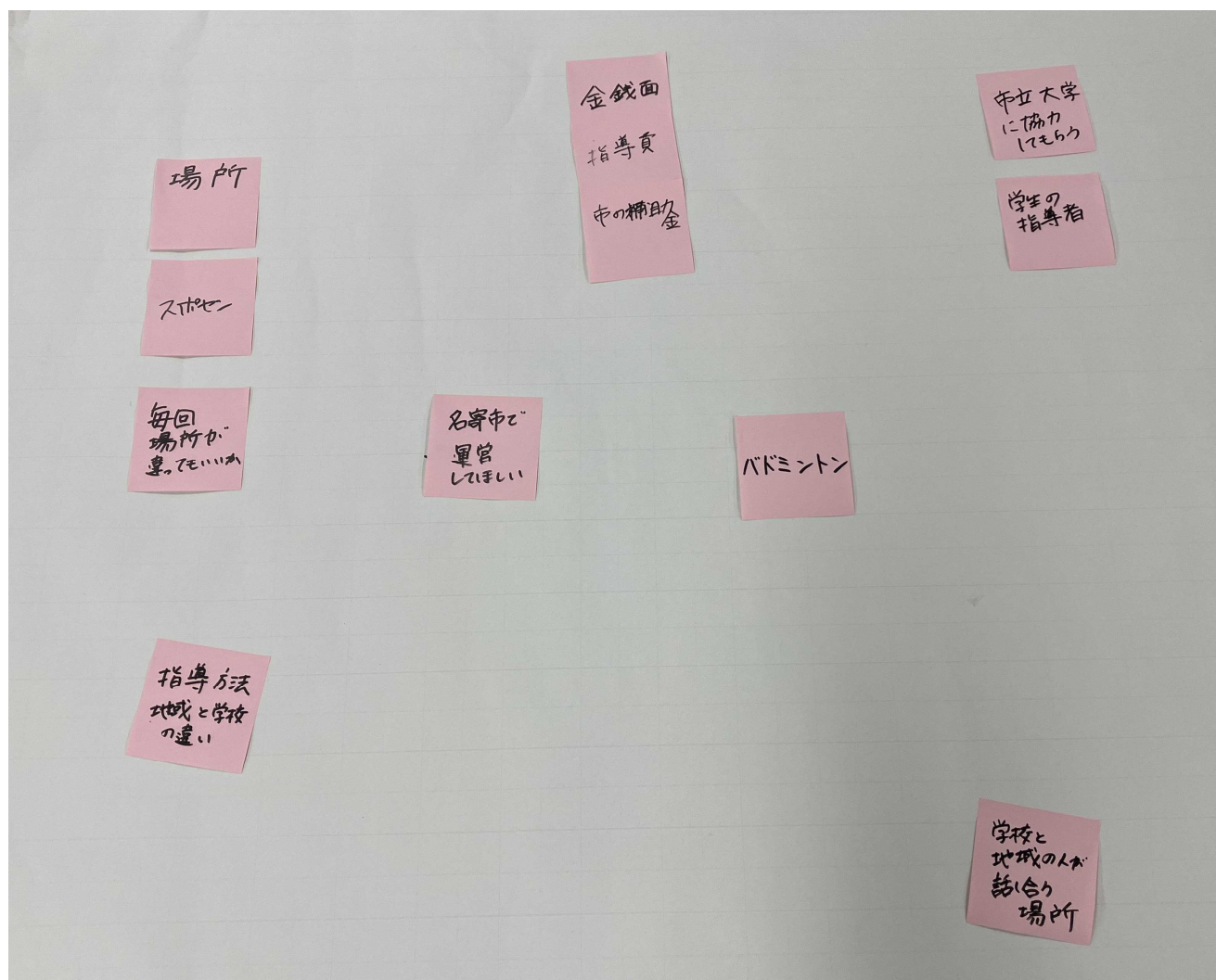
中学校：松浦 広幸（名寄東）、片岡 涼（名寄）、今井 奈美（名寄）

運動部会：松澤 大介

《発表内容》

- ・活動場所、指導者が課題になる
- ・バスケットボールで名寄市立大学生徒の協力を得て活動をしていることを聞いた。地域で持続可能な指導ができる方法として考えていきたい
- ・休日の活動として指導ではなく、まずは大会のような試合形式の活動に生徒が参加し、地域との繋がりを作っていくという方法の話もあった
- ・地域展開を進めていくには学校側、地域の指導者の連携が必要。指導方法の共有などお互いの考えをすり合わせできるような機会が必要

《次回分会日程》8月30日



《模造紙内容》

○場所

- ・ スポセン
- ・ 毎回場所が違っていいか

○金銭面

- ・ 指導費
- ・ 市の補助金

○指導者

- ・ 市立大学に協力してもらう
- ・ 学生の指導者

○指導方法

- ・ 地域と学校の違い

○その他

- ・ 名寄市が運営してほしい
- ・ 学校と地域の人が話し合う場所

卓球分会

出席者 名寄卓球連盟：刈谷 直幸、堀 宏拓

風連卓球クラブ：多賀 文雄、合田 絢貴、折田 和也

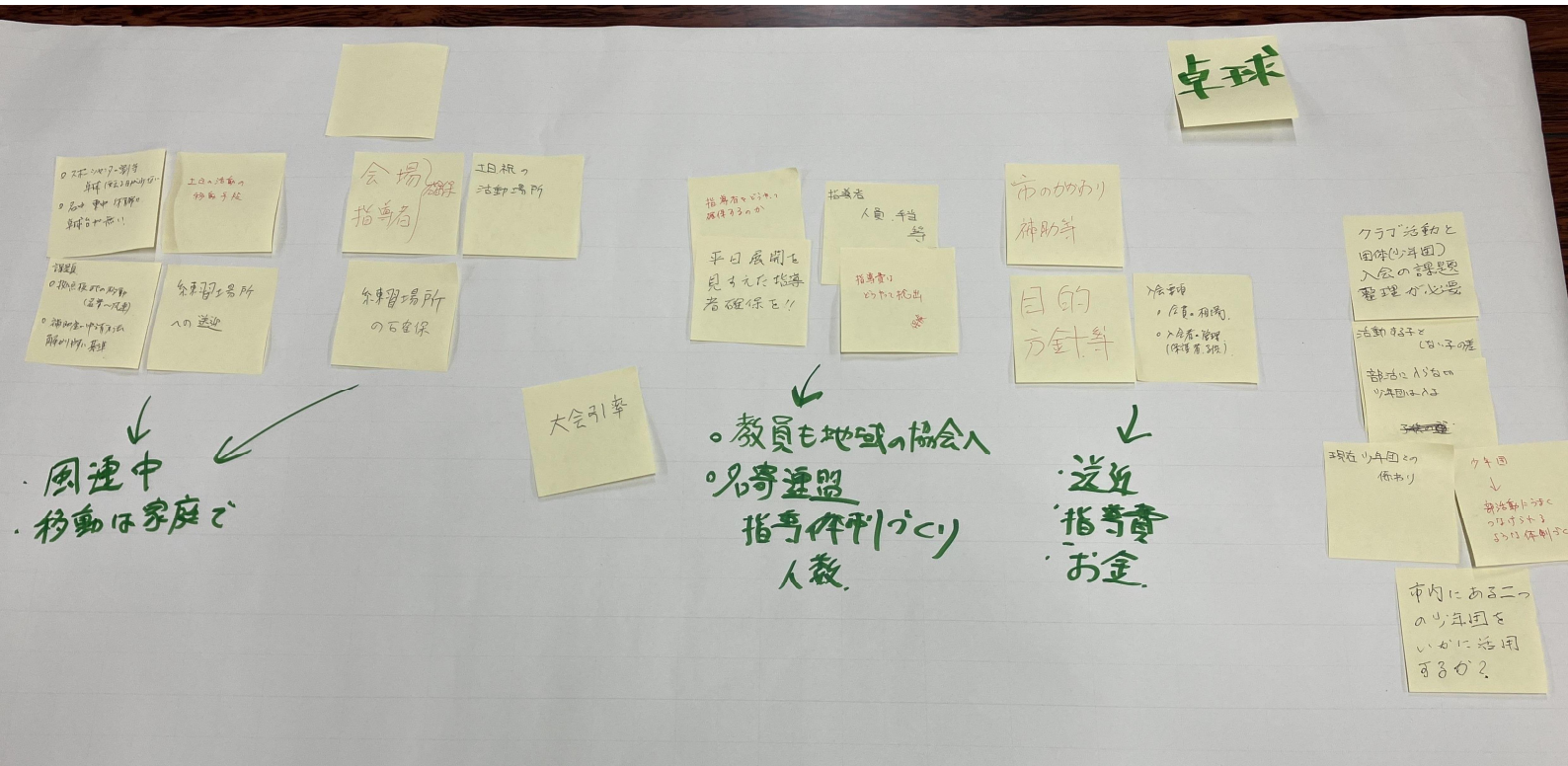
中学校：松岡 史倫（風連）

事務局：土井 渉

《発表内容》

- ・平日に市内で卓球ができる場所がないため、平日は部活動を行うことを前提とする
- ・休日においてもスポセンが大会等で利用できないため、拠点校である風連中での活動とし、移動は保護者の送迎で行うことを想定。この条件を了承できる方に参加してもらう
- ・現在、平日は風連卓球クラブの指導者が部活動指導員として指導に携わっている。
- ・休日は、教職員に協力いただき協会所属としての指導や協会に指導部など指導体制づくりが必要。また、協会の人数が少ないため、運営や事務局などの体制づくりが必要
- ・移動や送迎がどうなるのか、指導者報酬が支給されるのか、活動に対する補助金などがあるのか
- ・地域クラブ活動のみなど生徒間で実力差が生まれる場合、カテゴリを分けた指導をするのか、実力を伸ばしていくのかなど課題になる

《次回分会日程》7月31日18:30～



《模造紙内容》

- ・ スポーツセンター割り当て卓球で使える日が少ない
- ・ 名中、東中に卓球台がない
- ・ 土日の活動の移動手段
- ・ 拠点校までの移動（名寄→風連）
- ・ 補助金の申請方法わかりやすい基準
- ・ 練習場所への送迎
- ・ 会場、指導者の確保
- ・ 練習場所の確保
- ・ 土日祝日の活動場所

→風連中を活動場所とし、移動は保護者で

- ・ 大会引率

- ・ 指導者をどうやって確保するのか
- ・ 平日展開を見据えた指導者確保
- ・ 指導費の捻出

→教員も地域の社会へ

→名寄連盟指導体制づくり、人数

- ・ 市のかかわり、補助等
- ・ 目的方針等
- ・ 入会要項、会費の相場、入会者の管理（保護者子供）

→送迎、指導費、お金

- ・ クラブ活動と団体（少年団）入会の課題、整理が必要
- ・ 活動する子としない子の差、部活に入らない少年団は入る
- ・ 現在の少年団とのかかわり、少年団→部活動につなげられるような体制づくり
- ・ 市内にある2つの少年団をいかに活用するか

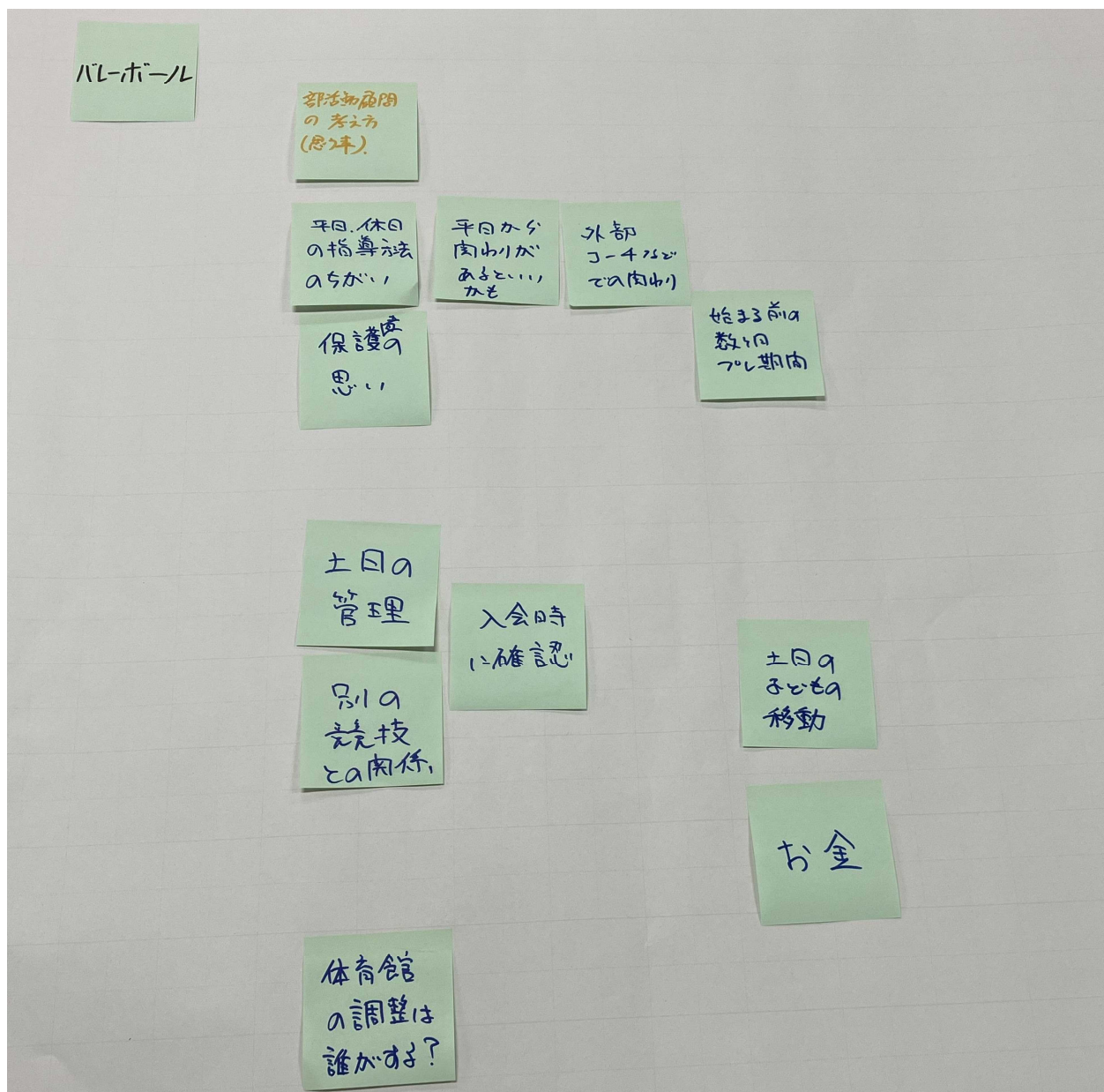
バレーボール分会

出席者 バレーボール協会：遠藤 政文、佐藤 信吾
中学校：内山 佳苗（名寄東）、畠 雅義（名寄）
運動部会：小笠原 志朗

《発表内容》

- ・部活動顧問の話を直接聞くことができてよかった
- ・平日休日の指導方法の違いがあるため、指導者間の連携が必要
- ・課題として体育館の利用調整方法、移動や会費にかかる保護者負担の話があった
- ・お金がないとスポーツができなくなる環境にはしたくない
- ・令和8年9月までの間に地域の指導者に指導を受けられるプレ期間を設け、生徒が選べるような関係性を作ることも検討していただきたい

《次回分会日程》8月20日



《模造紙内容》

- ・ 部活動顧問の考え方（思うこと）
- ・ 平日休日の指導方法の違い
- ・ 平日から関わりがあるといいかも
- ・ 外部コーチなどでの関わり
- ・ 始まる前の数か月プレ期間
- ・ 保護者の思い
- ・ 土日の管理
- ・ 別の競技との関係
- ・ 入会時に確認
- ・ 土日の子供の移動
- ・ お金
- ・ 体育館の調整が誰がする？

バスケットボール分会

出席者 バスケットボール連盟：櫻田 孝臣

ミニバス少年：鯖戸 貴也

中学校：鬼原 善彦（名寄）、福澤 湧太（名寄東）

運動部会：金澤 秀和

《発表内容》

○指導者関係

- ・指導者の確保が難しい
- ・昨年から半年間の期間、名寄市立大学生徒20人がミニバス少年団の指導を協力してもらっている
- ・大学生、一般、保護者、先生方も指導に携わっている
- ・夏休み冬休みなど長期休業の指導が難しい。指導をしたい教員にも協力してもらいたい
- ・エコシステムから指導者の資格取得費用、遠征費用、保険料を支給している

○活動場所

- ・学校体育館など活動場所の確保が必要
- ・スポセン5時から9時まで借りて、小中合同で利用した。広く使えるが、会場料の負担が課題

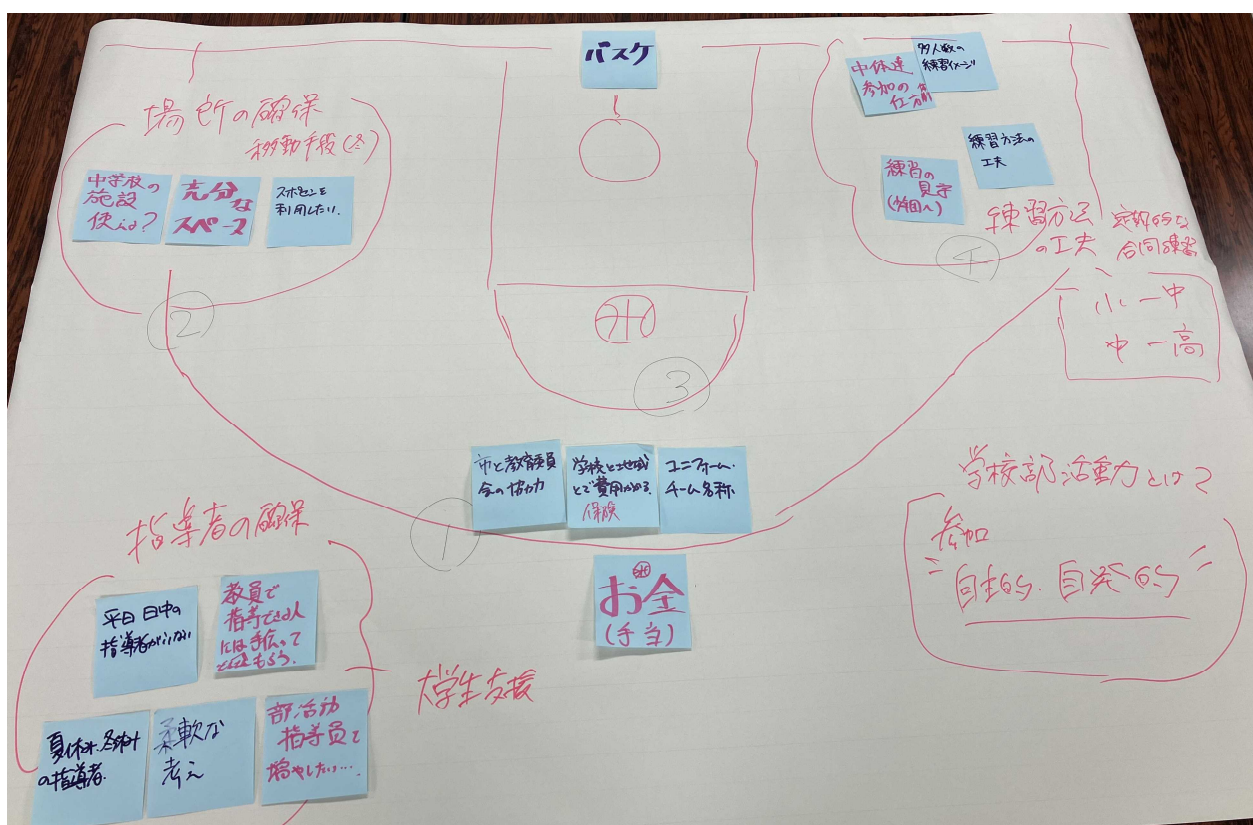
○指導方法・練習方法

- ・人数が増えることで、初心者から経験者までレベル差が生じる。
- ・部活動の初心者は少年団指導者、ミニバスの上手な子を部活動指導者で指導するなど連携した指導を行っている。小中合同練習や、中高合同練習も行った

○お金

- ・遠征費の補助、手当など整理が必要

《次回分会日程》8月19日19:00～名中



《模造紙内容》

○場所の確保、移動手段

- ・ 中学校施設は使える？
- ・ 十分なスペース
- ・ スポセンを利用したい

○指導者の課題

- ・ 平日日中の指導者がいない
- ・ 夏休み冬休みの指導者
- ・ 柔軟な考え

→教員で指導できる人にはどんどん手伝ってもらう

→部活動指導員を増やしたい

→大学生の支援

○お金、手当

- ・ 市と教育委員会の協力
- ・ 学校と地域で費用がかかる、保険
- ・ ユニフォーム、チーム名称

○練習方法等の工夫

- ・ 中体連参加の仕方
- ・ 大人数の練習イメージ
- ・ 練習の見守り（少年団へ）
- ・ 定期的な合同練習 小一中、中一高

野球分会

出席者 軟式野球連盟：石倉 俊宏

名寄ベースボールクラブ：中村 耕司、金子 一賀

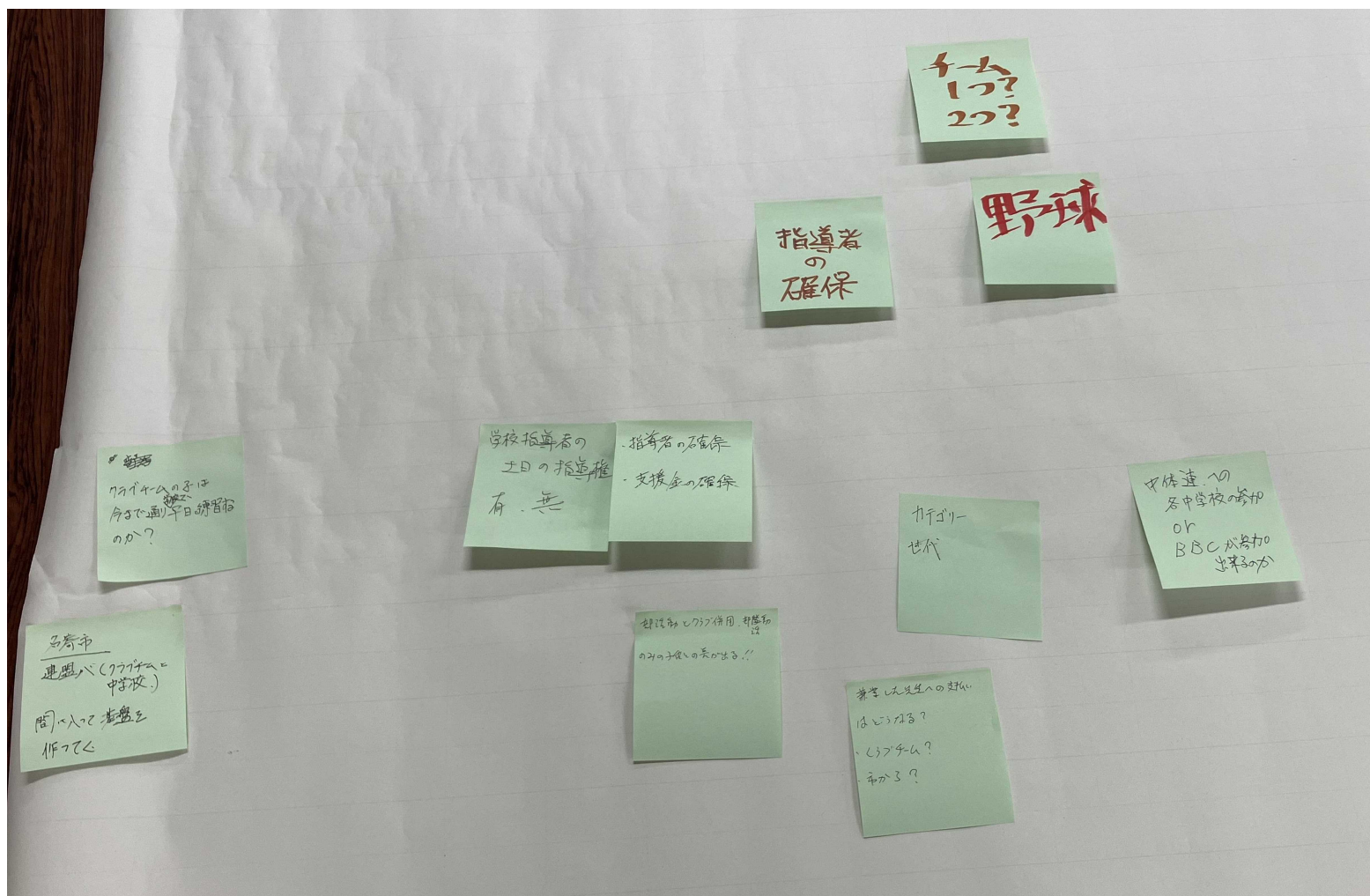
中学校：寺口 翔馬（名寄東）、宮本 廉（名寄）、安田 邦彦（風連）

運動部会：清水 幸子

《発表内容》

- ・ナビック加入者、部活動加入者、双方加入者がいる
- ・チームとしては、部活 1 チーム、ナビック 1 チームがある
- ・チームを 1 つにして活動する方向性となった
- ・活動場所、お金の捻出、指導したい教員がどう組織に入っていくかが課題

《次回分会日程》8月18日18:00~名中



《模造紙内容》

- ・ チーム1つ？2つ？

- ・ クラブチームの子は今まで通り学校で平日練習するのか
→連盟がクラブチーム、中学校の間に入って基盤を作っていく

- ・ 学校指導者の土日の指導権
- ・ 指導者の確保
- ・ 支援金の確保
- ・ 部活動+地域クラブと部活動のみの子供の差がでる
- ・ 兼職兼業の顧問への支払いはどうなる？市から？クラブから？

- ・ カテゴリー、世代
- ・ 中体連参加 学校から？BBCが参加できるのか？

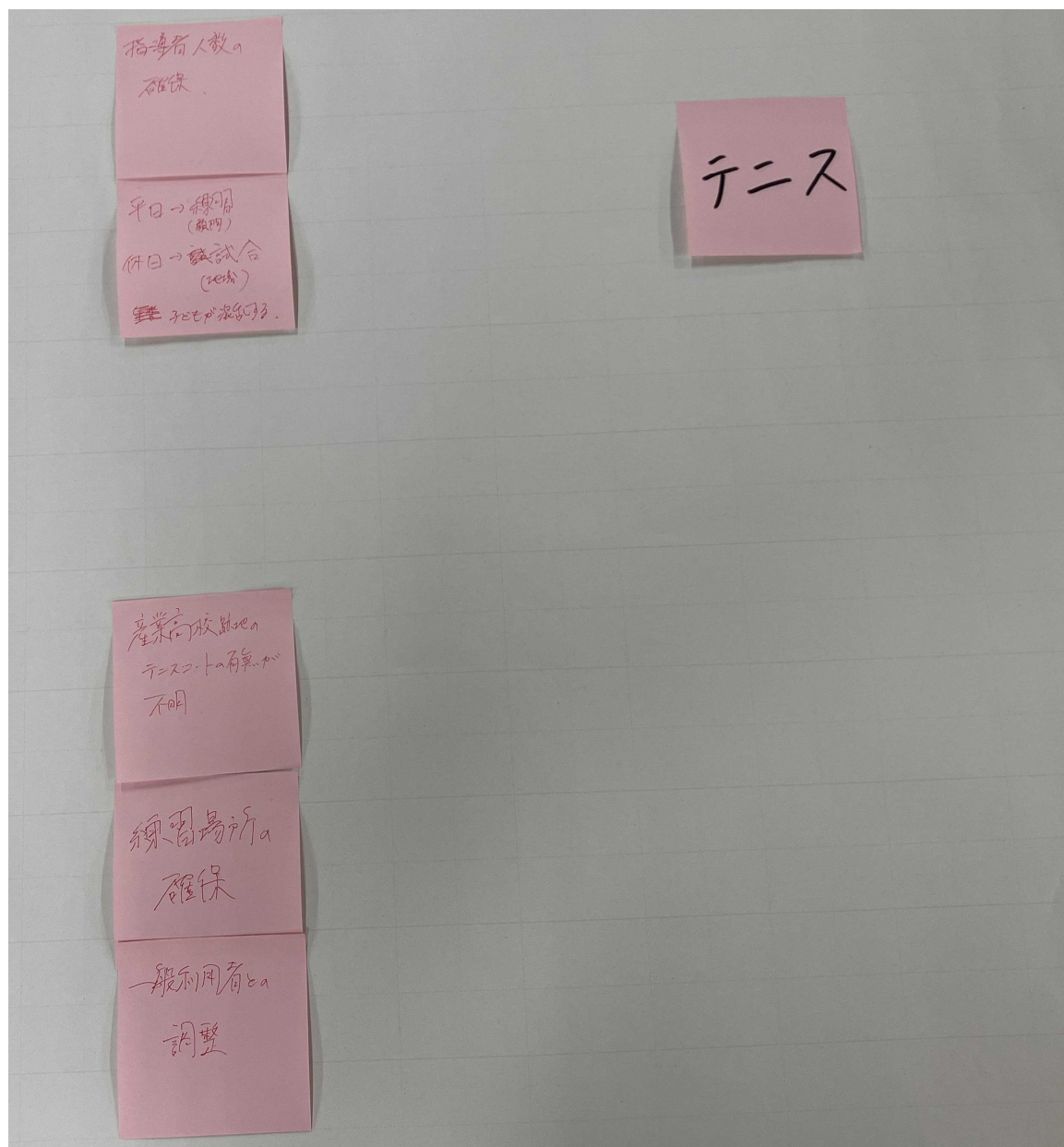
ソフトテニス分会

出席者 ソフトテニス連盟：今 尚文、森田 俊雄、吉田 憲人、太斉 淳一
中学校：井上 朋弥（名寄東）、大久保 佑樹（名寄）
運動部会：大沼 広明

《発表内容》

- ・活動場所が確定しないと、人の動きがみえてこない
- ・市内中学生50名、少年団24名に加えて硬式テニス利用者が市営コートを利用
- ・活動場所がなければ話し合いにならないため、活動場所確保の方向性を示していただきたい
- ・指導者人数が万全ではないため、指導者確保については継続協議していく
- ・平日練習、休日大会の指導者が異なると生徒が混乱する
- ・時間がなく、対策や取組等は話し合いできなかった

《次回分会日程》8月18日18：00～テニスコート管理棟



《模造紙内容》

- ・指導者人数の確保
- ・平日練習は顧問、休日大会は地域 子供が混乱する
- ・練習場所の確保
- ・産業高校跡地のテニスコートの有無が不明
- ・一般利用者との調整

部会長まとめ

- ・10月16日までに活動内容を協議していく必要がある
- ・今後は競技団体が主体的になり各分会で協議を行い、入会要項を作成していきたい